

お客様各位



農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

適用拡大 2025年9月10日付（1件）

(1) ナレート水和剤

登録第 17960 号

適用病害虫名の追加: ブロコリー／黒すす病

【変更後】

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	オキシニック酸を含む 農薬の 総使用回数	有機銅を含む 農薬の 総使用回数
ブロッコリー	軟腐病 黒すす病	1000 倍	100～ 300ℓ /10a	収穫 14 日 前まで	2 回以内	散布	2 回以内	3 回以内

【変更後】

8. 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 石灰硫黄合剤との混用は薬害のおそれがあるのでさけること。
- (3) はくさい、レタス、非結球レタス、キャベツ、ブロッコリーに対して使用する場合、収穫期に近づいてからの散布では収穫物に汚れを生じることがあるので注意すること。
- (4) はくさい・たまねぎ・レタス・非結球レタス・キャベツ・ブロッコリー・だいこん・ねぎの軟腐病、はくさいのべと病、レタス・非結球レタスの斑点細菌病及び腐敗病並びににんにくの春腐病に使用する場合、発病後の散布では効果が劣る場合があるので、発病前あるいは発病初期に予防的に散布すること。
- (5) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上

2025年9月11日

お客様各位



「商品」農薬登録のご連絡の件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より弊社商品の普及販売に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記につきまして、登録変更がございましたので、別紙の通りご連絡申し上げます。
使用者への周知徹底につきご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

別紙「ロイヤント™乳剤」適用拡大認可のご案内 3枚

以上

2025 年 9 月 10 日

お取引先様 各位

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社
マーケティング本部**「ロイヤント™乳剤」 適用拡大認可のご案内**

初秋の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度、水稲用除草剤「ロイヤント™乳剤」の適用拡大申請が別紙 1 のとおり 9 月 10 日付で認可となりました
のでご案内申し上げます。
今後ともご指導、ご鞭撻賜りますよう、お願い致します。

敬具

別紙 1

1 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第 2 4 3 8 7 号

名 称：ロイヤント乳剤

2 変更の内容

作物名「直播水稻」に適用雑草名「オオクサキビ」を追加する。

【変更後】（変更する作物のみ抜粋）

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用 回数	使用方法	フロルピラウキシフ エンベンジルを含 む農薬の総使用 回数
			薬量	希釈 水量			
直播水稻	一年生広葉雑草 ノビエ ミズガヤツリ ウリカワ セリ オオクサキビ	稲 3 葉期～ ノビエ 5 葉期 ただし、収穫 45 日前まで	200mL/ 10a	100L/ 10a	2 回 以内	乾田・落水状態 で雑草茎葉散布 又は全面散布	3 回以内

3 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容

農薬登録申請書第 7 項（7）を以下のとおり変更し、別紙 2 のとおりとする。

（変更前）

（7）多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ミズガヤツリは草丈 25cm まで、ウリカワは 6 葉期まで、セリは増殖期まで、オモダカは矢じり葉 3 葉期まで、エゾノサヤヌカグサは 3 葉期まで、シズイは草丈 30cm まで、ナガエツルノゲイトウは草丈 60cm まで、また、アゼガヤ（一年生雑草）は草丈 30cm までに散布すること。

（変更後）

（7）多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ミズガヤツリは草丈 25cm まで、ウリカワは 6 葉期まで、セリは増殖期まで、オモダカは矢じり葉 3 葉期まで、エゾノサヤヌカグサは 3 葉期まで、シズイは草丈 30cm まで、ナガエツルノゲイトウは草丈 60cm までに散布すること。また、一年生雑草のアゼガヤは草丈 30cm まで、オオクサキビは 5 葉期までに散布すること。

別紙 2

農薬登録申請書第 7 項

【変更後】

- (1) 使用量にあわせて薬液を調製し、使いきること。
- (2) 散布液は使用当日に調製すること。
- (3) 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように適期に散布すること。
- (4) 散布する際は、薬液が雑草に十分かかるような状態にして、水の出入りをとめ、まきむらのないよう均一に散布すること。
- (5) 散布は噴霧状に行い、薬液が雑草全体によくかかるようにすること。
- (6) 散布後 7 日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないこと。
- (7) 多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ミズガヤツリは草丈 25cm まで、ウリカワは 6 葉期まで、セリは増殖期まで、オモダカは矢じり葉 3 葉期まで、エゾノサヤヌカグサは 3 葉期まで、シズイは草丈 30cm まで、ナガエツルノゲイトウは草丈 60cm までに散布すること。また、一年生雑草のアゼガヤは草丈 30cm まで、オオクサキビは 5 葉期までに散布すること。
- (8) ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラには効果が低いので、それら雑草が混在するほ場ではそれらに有効な剤と組み合わせ使用すること。
- (9) 土壌水分が少ないと効果が十分に発揮されないことがある。乾田または落水状態で散布する際は早め（3 日以内）に入水すること。
- (10) 薬害のおそれがあるので重複散布をさけること。
- (11) 薬害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意すること。
- (12) 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - ①砂質土壌の水田および漏水田（減水深 2 cm/日以上）
 - ②軟弱な苗を移植した水田
 - ③極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田
 - ④稲の根が露出している水田
- (13) 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- (14) 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないこと。
- (15) 幼穂形成期以降の散布では葉先の黄化や止葉の下垂が見られる場合があるが、収量に対する影響は認められていない。
- (16) 散布機、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に洗浄し、洗浄液は河川等に流さず、環境に影響をあたえないように適切に処理すること。
- (17) 空瓶等はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- (18) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。